

## 第2回 松江市健康まつえ21基本計画推進委員会 議事要旨

1. 日 時 令和5年9月28日(木) 17時00分～19時00分

2. 場 所 松江市役所 3階 第二常任委員会室

### 3. 出席者

(1) 委員 (10名/12名中)

松本和也委員、吉川浩郎委員、藤井浩太郎委員、安達伸次委員、勝部廣三委員、高麗優子委員、福島喜美子委員、名越究委員、名和田清子委員、古志野純子委員 <欠席：若林三成委員、藤原みえ子委員>

(2) 事務局

松原健康福祉部長、加納健康福祉部次長、竹内保健所長  
健康推進課：岸本課長、堀江保健専門官、山根係長、伊藤係長、飯野管理栄養士長、雨川橋北グループリーダー、荒木橋南グループリーダー

### 4. 次 第

(1) 開会

(2) 健康福祉部長あいさつ

(3) 委員長あいさつ

(4) 議事

① 松江市民の健康に関する現状及び課題

② 地域ヒアリングの結果

③ 第3次健康まつえ21基本計画骨子(案)

(5) その他

(6) 閉会

### 5. 会議経過

別紙のとおり

### (1) 開会

- ・事務局による開会宣言
- ・資料の確認

### (2) 健康福祉部長あいさつ

- ・前回委員会の振り返り
- ・本日の議事の説明

### (3) 委員長あいさつ

- ・委員長あいさつ
- ・委員会の成立確認
  - ・出席委員数：10名（委員数12名）
  - ・半数以上の出席があり、松江市健康まつえ21基本計画推進委員会設置要綱の規定に基づき委員会が成立していることを報告
- ・情報公開
  - ・松江市情報公開条例及びそれに基づく審議会等の公開に関する要綱の規定によって公開を行うことを報告

（以後、松江市健康まつえ21基本計画推進委員会設置要綱の規定により名越委員長が議事を進行）

### (4) 議事

#### 【議事① 松江市民の健康に関する現状及び課題】

- ・事務局より、資料1に沿って説明

#### （委員からの意見・質問等）

##### ○平均余命・健康寿命について

- ・5ページをみると、平均余命、健康寿命ともに延びているが、平均余命、健康寿命のどちらを延ばすことが良いことなのか。

→<事務局>

- ・平均余命は若干延びているが、横ばいになる時期が来ると思われるので、健康寿命を延ばし、介護が必要な期間を縮めていくことが必要になると思っている。

##### ○死亡の原因について

- ・8ページをみると、女性の死亡原因の第2位は膵臓がんになっているが、9ページのがんの部位別死亡率の推移状況のグラフには膵臓がんの項目がない理由は。

→<事務局>

- ・9 ページのがんの部位別死亡率の推移状況のグラフに示している項目はがん検診の対象になっているもののみを載せている。もし、データを収集することができれば集計しお示しできればと考えている。

#### ○要介護認定の原因疾病について

- ・13 ページをみると、女性は骨折や関節症などによって新規要介護認定される方が多いとある。ただ、認知症になってから判断が難しくなり転んだりして要介護状態になる人もいると思うがこの場合、要介護認定の原因疾患となるのは認知症だろうか。要介護認定される際の原因疾病はどのように決まるのか。

→<事務局>

- ・原因疾患については、主治医の意見書の中に要介護の主たる原因という項目があり、それぞれの先生が判断しそこに記載されたものが原因疾患となる。ただ、直接的な原因とその背景は異なるものかもしれない。

#### ○健康調査の結果（歯・口腔）について

- ・24 ページの歯・口腔の項目をみると、「問題があるので改善したい」と回答した方が減っているが、口の環境が良くなった人が増えたので、改善意識を持つ人が減ったので良いことではないかと思う。
- ・歯・口腔の項目については、壮年期を中心に問題意識自体が顕在化していないと思う。
- ・年代が上がるにつれて、「かかりつけ歯科医で定期的に受診している」と回答した方が増えているが、これは残存歯数が増えてきたこと、時間の余裕ができたことが影響していると思う。昔は、入れ歯を理由に受診をしなかった高齢者が多かったので意識が変化していると思う。
- ・取組を行う上でのポイントは、働き盛りの方にどうやって受診してもらうかになる。

#### 【議事② 地域ヒアリングの結果】

- ・事務局より、資料2に沿って説明

#### (委員からの意見・質問等)

##### ○ヒアリングの対象について

- ・対象の方はどのような年代の方が多いのか。

→<事務局>

- ・地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定会議の場で行ったため、地区社協の役員、福祉推進員など地域の役員の方が中心なので高齢の方が多い。

- ・地域単位で行うと参加者は高齢者が多くなると思う。働き盛り世代の意見を取り入れる方法も必要かと思う。計画をつくる中でターゲットとする年代をきちんと捉えるべき。必要であれば、商工会議所がヒアリングに協力しても良い。

#### ○ヒアリングの結果について

- ・ヒアリングを行って、意見の内容に地区の特性はあったのか。地区によって困りごとや生活習慣が違うような気がする。

→<事務局>

- ・地区によって大きく意見の内容に差は生じていない。

- ・玉湯公民館には健康に関するアンケート調査の結果が掲示されている。何か地区ごとの生活習慣やデータなどを持ってヒアリングに行くと良いと思う。
- ・結果をみると、一般的に考えられる内容が多かったと思う。ただ、参加者は高齢の方が多いため若い人の意見を知りたい項目（栄養・食生活など）の中にはある。

#### ○フレイルの認知度について

- ・ヒアリングの際に、フレイル予防の重要性等を説明されているが、参加された方はフレイルについてご存じの方はどれくらいいるのか。

→<事務局>

- ・参加された方は概ね理解している様子だった。

- ・オーラルフレイルという言葉もあるがなかなか浸透しない。機会があればオーラルフレイルの話もしてもらいたい。

#### 【議事③ 第3次健康まつえ21基本計画骨子（案）】

- ・事務局より、資料3に沿って説明

#### (委員からの意見・質問等)

##### ○文言・表現について（全体）

- ・第2次計画を策定してからの期間の社会状況の変化、トレンドなどを踏まえて記載されているので大枠としては良いと思う。
- ・今回は骨子案なので、取組内容のところは広い範囲で含みを持たせる形で記載されていると思うが具体的な内容も知りたい。

→<事務局>

- ・次回の第3回委員会では具体的な取組内容をお示しする。骨子案の文言・表現に

ついて良い案があればご意見を頂きたい。

**○文言・表現について（基本方針 1, 2 4. 歯・口腔の健康づくりの推進）**

- ・取組内容に「口腔機能の維持」とあるが、機能の維持と発達の支援なども含まれるのかなと感じている。よく噛むことが小さい頃からできるようにするといった意味も含まれると思う。

**○文言・表現について（基本方針 3 松江らしい地域資源の活用、健康づくりを支える環境整備の推進）**

- ・「松江らしい地域資源の活用」のところは少し違和感がある。基本方針 3 全体にかかる言葉ではなく、取組方針 5「自然に健康になれる健康づくり」だけにあてはまる言葉だと思う。

**○文言・表現について（基本方針 3 3. 健康づくりに取り組む事業所の拡充）**

- ・「健康経営」という言葉を含めた方が良いと思う。

**○文言・表現について（基本方針 3 4. 学校等での健康づくりの推進）**

- ・取組内容に「生活習慣病予防に向けた生活習慣の確立」とある。太ってはだめ、塩分を摂り過ぎないというような狭い範囲のことを思い浮かべる方も多と思うが、実際には 3 食食べることができない子どもや栄養が足りていない子どもなどが増えており、「適切な生活習慣・食習慣の確立」などもう少し広い範囲を指す表現でも良いと思った。
- ・歯周病予防や虫歯予防にも取り組んで頂きたい。虫歯や歯肉炎は生活習慣病に近いところもあるが、イメージしにくいので、取組内容の表現を「生活習慣病等の予防に向けた生活習慣の確立」でも良いと思った。

**○文言・表現について（基本方針 3 5. 自然に健康になれる健康づくり）**

- ・素晴らしい言葉だと思う。
- ・第 2 次計画の時は主流でなかった概念。

**○ライフステージの設定について**

- ・「学校等での健康づくりの推進」は概ね 0～19 歳と書いてあるが、大学生も含めるのであれば 19 歳以上もいるので少し範囲が広がるのではないか。「事業所での健康づくりの推進」は概ね 20～64 歳となっているが、高校卒業から働いている人は 18 歳から働いている。また、最近では 65 歳以上でも働いている人がいる事業所もある。80 歳で元気に働いている人がいれば良いことだと思う。ライフステージの年齢区分について一度ご検討いただければと思う。

### ○計画をつくる上でのポイント

- ・ターゲットを絞って取組を進めると良いと思う。例えば、喫煙でいうと、高齢者の喫煙は減ってきているが働き盛りの世代の方は喫煙が多いのであれば、働き盛りの世代の方に向けた取組を事業所と連携して進めると良いと思う。ターゲットをどう考えるか、誰と取り組むのかまでわかるととても良いと思う。
- ・SDGsのターゲットの3番目「すべての人に健康と福祉を」を意識して作成すると良いと思う。
- ・今の骨子案をみると、フレイルに関する内容が少し見えにくい。言葉の認知度が低いので工夫が必要。

→<事務局>

- ・フレイルについては、計画書の色々なところに「フレイル」という言葉がでてくると思う。認知度が低いことも踏まえて用語の解説を加えることも含めて検討する。

### ○その他

- ・観光客が松江に来て、松江市民が健康である姿を見せることが観光になる。市民が健康であることを対外的にPRできれば良いと思った。
- ・計画ができてから周知をしっかりといただきたい。市民に意識してもらうことが大切だと思う。例えば、松江市PTA連合会の会議の際に様々な団体の方が来られて、説明をされるのでそういった場でお話頂いても良いと思った。

### (5) その他

- ・事務局より第3回委員会の日程について連絡
  - ・次回は11月16日の14:00からを予定
  - ・会場は松江市役所第一常任委員会室を予定

### (6) 閉会

令和 年 月 日

松江市健康まつえ21基本計画推進委員会  
委員長